

実行時間が長い SQL 文での確認事項

【実行統計に関する情報 (physical read、Elapsed time) についての確認点】

Statspack レポート

Buffer Gets	Excutions	Gets per Exec	%Total	CPU times (S)	Elaspd times (S)	Hash Value
152,915	42,458	4.3	17.8	5.02	104.13	232894289
バッファ読取り量	バッファ量 / 実行回数			CPU 稼働時間	ハッシュ値	
	実行回数	全読込みに対する割合			処理待ち時間	

SELECT KEY FROM TAB WHERE KEY = :B FOR UPDATE NOWAIT
対象 SQL 文

※ CPU times (S)と比較して、Elaspd times (S)の値が非常に長い場合には、処理の競合が発生しています

この原因には、**資源共有の解放待ち** や **レコード処理の排他制御待ち** が考えられます
原因を特定して取除き、遅延時間を小さくする必要があります

【実行統計に関する情報 (physical reads) についての確認点】

Autotrace による SQL 実行統計情報

統計

```
-----  
0 recursive calls  
0 db block gets  
63512 consistent gets  
41658 physical reads
```

※ 同一 SQL 文が何度か繰り返し実行されても、physical reads (物理ディスク読込み量) が大きい場合には、バッファキャッシュを使い果たして毎回実行時にディスクへのアクセスを行っている可能性があります

バッファキャッシュの残量を確認して、適正な対応をとる必要があります